

放射線科だより



令和7年2月28日

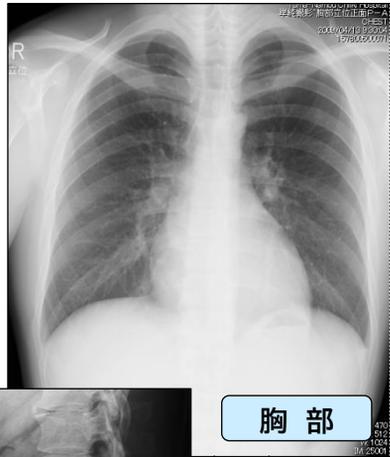
診療放射線科 畑田 瞬

《一般撮影検査》

・一般撮影（レントゲン）検査とは？

一般撮影（レントゲン）とはX線を使用し、主に胸部（肺）や腹部（内臓）、全身の骨や関節などの撮影を行います。

当院では**フラットパネルディテクタ（FPD）装置**を使用して検査を行っています。フラットパネルディテクタとは、家庭のカメラでいうところのデジタルカメラと特徴が類似している点が多くあります。色々なデジタル画像処理が可能となり、診断に適したより鮮明な画像が得られるようになりました。また、デジタルカメラ同様、撮影した画像をその場で確認できるため、待ち時間/検査時間の短縮にもつながります。さらには、コンピュータ処理技術の向上により、より少ないX線量で画像を作成することができ、**被ばく線量の低減も実現**しています。



胸部

- Point
- ・骨は**白く**、空気は**黒く**写る。
 - ・胸部/腹部の検査では空気、水、臓器の状態を観察する。
 - ・整形外科検査では、骨の形状、骨折の有無を観察する。
 - ・装置の設定条件で、脂肪や筋肉の状態も観察できる。



股関節



腰椎



肩



足関節



手指

検査に関する疑問、質問などございましたら

お気軽に検査担当技師までお問い合わせください。